

「京都水道グランドデザイン」記載内容（案）

（計画期間：平成31～40年度）

第
1
回
委
員
会28
年
10
月

- 1 京都水道グランドデザイン趣旨
 - (1) 策定の必要性
 - (2) グランドデザインの位置づけ
 - (3) 計画期間

- 2 一般概況（地勢、人口、産業、水資源等）
 - (1) 京都府の地勢について
 - (2) 人口について
 - (3) 産業・経済について
 - (4) 水資源（降水量等）について

- 3 水道の現況（施設数、普及状況、管理体制、料金等）
 - (1) 水道普及率（給水人口）について
 - (2) 水道事業者数（上水道、簡易水道の状況）について
 - (3) 職員の状況について
 - (4) 施設状況（管路、施設、井戸、専用水道等）について
 - (5) 水質管理体制について
 - (6) 水道料金について
 - (7) 危機管理の状況
 - (8) 府営水道の状況について

- 4 給水量実績、水需要の見通し
 - (1) 給水量の実績について
 - (2) 水需要予測について

- 5 圏域区分の設定
 - (1) 圏域区分設定の考え方
 - (2) 圏域の特徴

- 6 現状分析と評価、課題抽出
 - (1) 安全性の保証に関する分析、評価、課題
 - ①水道未普及地域
 - ②浄水システム、水源の状況、「水安全計画」
 - ③水質検査体制
 - (2) 危機管理への対応に関する分析、評価、課題
 - ①「耐震化計画」策定（アセットマネジメント実施）
 - ②応急給水体制
 - (3) 持続性の確保に関する分析、評価、課題
 - ①施設の共同化、共有化の推進
 - ②広域化の検討
 - ③経営戦略の策定に向けた取組
 - ④人材育成、技術継承
 - (4) 新たな課題への取組

7 将来目標の設定とその実現方策

将来目標：短期5年、中期10年、長期15～20年

(1) 安全性の保証

- ①水道未普及地域への対策
- ②浄水システム、水源種別ごとの安全対応策の推進
- ③水質検査体制の充実、確立

(2) 危機管理への対応

- ①「耐震化計画」の策定（アセットマネジメントの実施）推進（耐震化率の向上）
- ②応急給水体制の充実、確立

(3) 持続性の確保

- ①施設の共同化、共有化の推進に向けた取組み
- ②広域化の検討
- ③経営戦略の策定推進に向けた取組
- ④人材育成、技術継承に向けた取組

(4) 新たな課題への取組

- ・地球環境への配慮（省エネルギー化）、国際展開 等

8 実施体制と進捗管理（フォローアップ）

(1) 他施策との整合性

(2) フォローアップ